

組付要領書及び部品表

Takakita

ブレードキャスタ[®]用

日農工特4Pオートヒッチ

BS-B-2

適応機種 BS5310SS
BS5310TS
BS5310SW
BS7310TS
BS7310SW



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本組付要領書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**ブレンドキャスタ用日農工特4PオートヒッチB形**の組付要領について記載してあります。組付前には必ず、この組付要領書をお読みの上、正しく組付けてください。また、ご使用前にはブレンドキャスタ本体の取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付して、お渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いています。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちに製品に取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

▲ 警告サイン

▲ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

▲ **危険** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

▲ **警告** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

▲ **注意** その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

特4PオートヒッチB形の組付け

BS-B-2

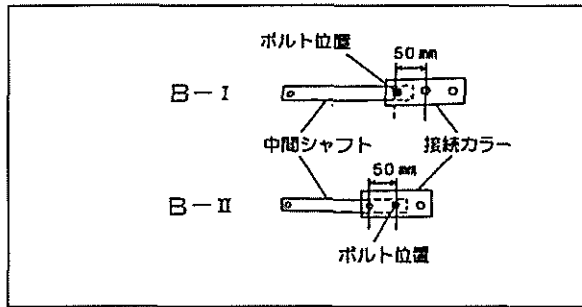
目農工特4PオートヒッチA形用部品

目農工特4PオートヒッチB形をお持ちのお客様は、下記のオプション部品を組付けていただくとオートヒッチで本機の着脱ができます。

◆ 組付けする前に

特4PオートヒッチA形には、B-IとB-IIのタイプがあり、接続カラーと中間シャフトの組付け位置が異なりますので注意してください。

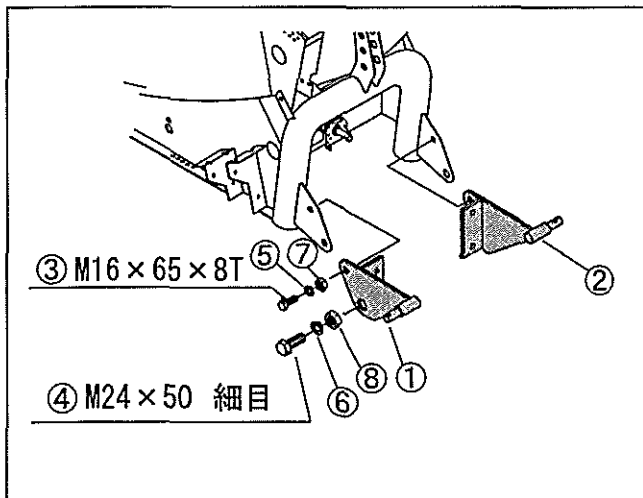
● 接続カラーと中間シャフトの組付け位置



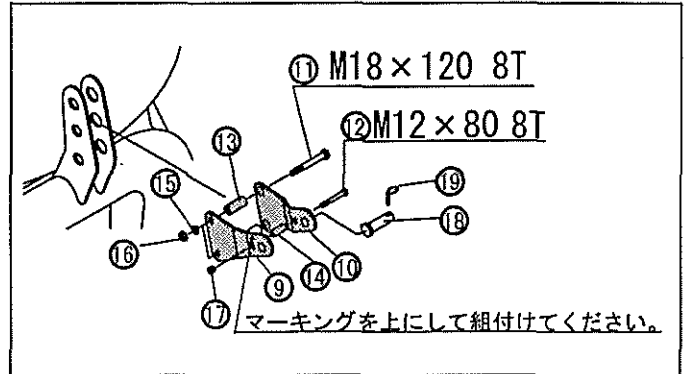
◆ 組付け手順

[1] フレーム関係の組付け

- (1) ①、②ローリンクブラケット（右・左）を、本機フレーム側のブラケットの内側に④ボルト、⑤⑥ナットで⑦⑧バネザガネ左右それぞれ2カ所ずつ組付けてください。

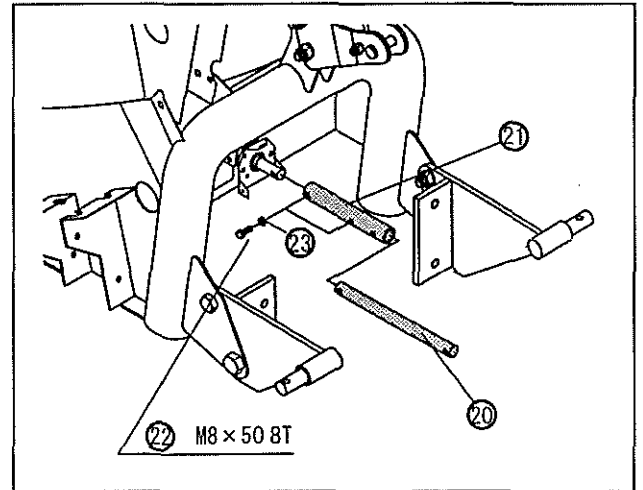


- (2) ⑨⑩トップリンクブラケット（右・左）を本体フレーム側のトップリンク部の外側に⑦ボルト⑧スプリングナット、⑪⑫ボルト⑬⑭カラー、⑮バネ座金、⑯ナット、⑰スプリングナットで左右組付け、⑱ピンを⑲リンチピンで止めてください。



[2] 軸関係の組付け

- (1) ⑳中間シャフトを本機側の入力軸と㉑接続カラーで連結し、それぞれを㉒ボルト、ナイロンナットで固定します。



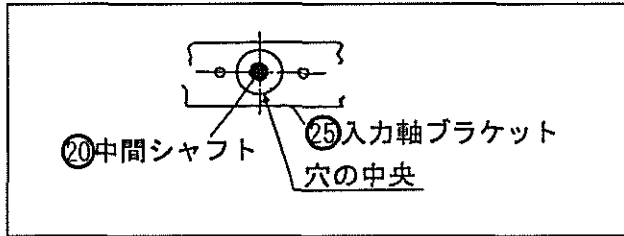
- (2) ㉕入力軸ブラケットに㉖高ナットを㉗平座金、㉘ボルトで組付けた後、㉙ボルト、㉚平座金、㉛スプリングナットで①、②ローリンクブラケットに組付けてください。
次に、中間シャフト軸⑳に㉜ベアリングを通し、㉝ボルト、㉞平座金、㉟スプリングナットで仮組みしてください。

注意

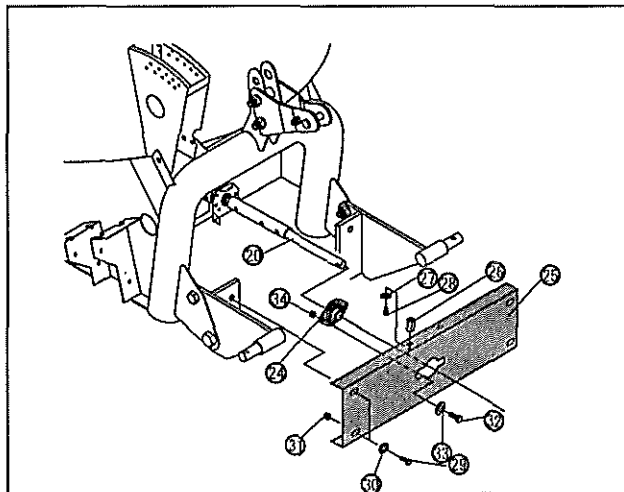
⑳中間シャフトを㉔入力軸ブラケットの㉑ベアリングに組込時は、㉑中間シャフトがフレームの穴の中央で組付けられていることを確認してください。

㉑中間シャフトがズレたまま無理に組付けると、軸折れ等の原因となります。

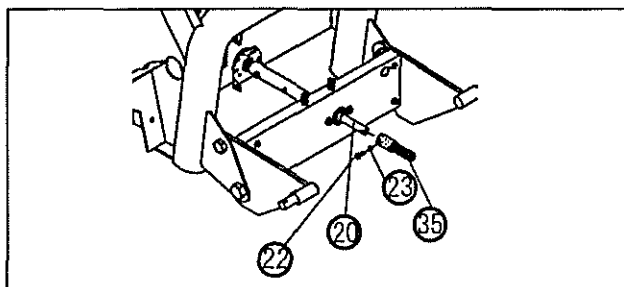
㉑中間シャフトがフレーム穴の中央に組付けられないときは弊社営業所までご連絡ください。



(3) ㉑中間シャフトと㉑ベアリングの芯が合っていることを確認し、ベアリング固定の㉒ボルト、㉓平座金、㉔スプリングナットを締め付けてください。

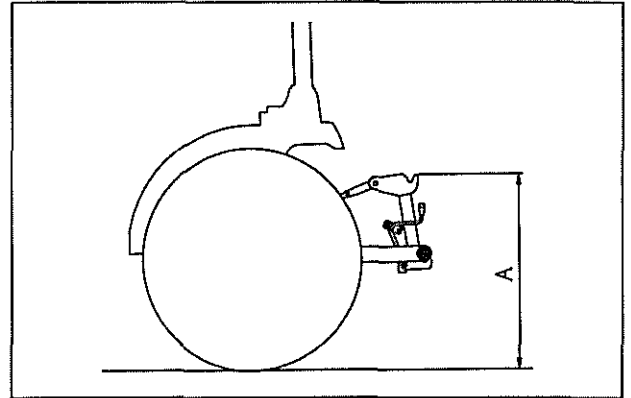


(4) ㉕スプラインシャフトを㉑中間シャフトへ㉒ボルト、㉓ナイロンナットで組付けてください。

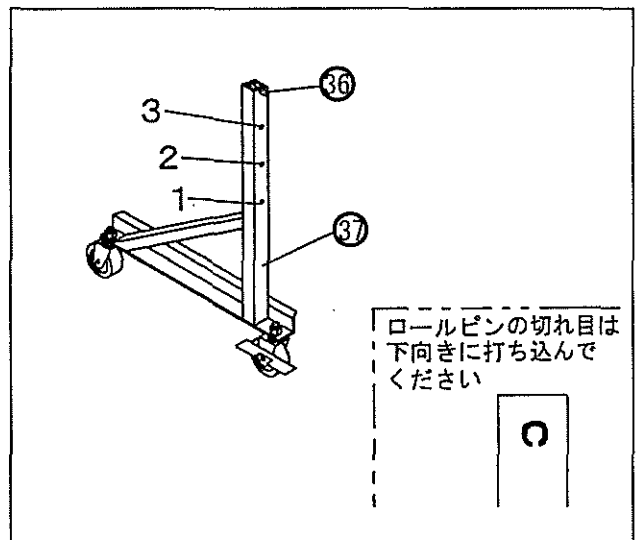


[3] スタンドの取付け

スタンドの高さは、三段階に調整できます。トラクタに装着されているヒッチの、最下げ時の地面からの高さAを測定していただき、下表を参照に、回り止めの㉖ロールピンを㉗スタンドに打ち込んでください。



Aの高さ	ロールピンの位置
710mm以下	1
710~790mm	2
790~870mm	3



[4] スタンドの組付け

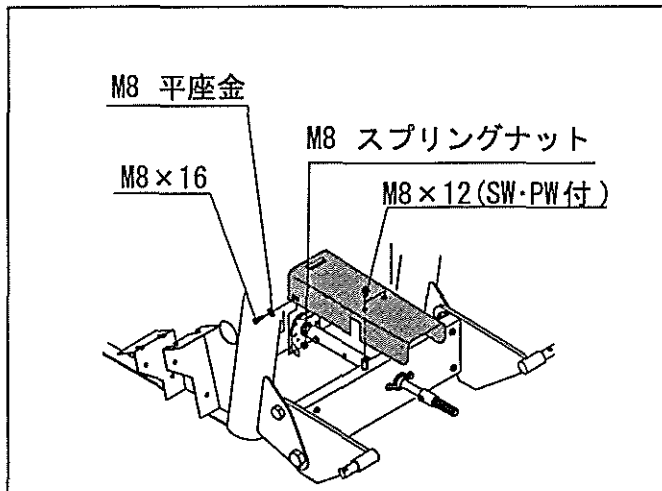
次ページの図のように、リンチピンでスタンドを組付けてください。

[5] 仮ドッキング

スプラインシャフトを手で回し、カクハンアーム、スピナーがスムーズに回ることを確認できましたら、トラクタにドッキングしてください。

[6] カバーの組付け

最後にカバーを組付けてください。



⚠ 注意

使用前に各部の組付けに誤りがないか、ボルト・ナット等が確実に締付けられているか必ず確認をしてください。

注意

- 本機の装着後、トラクタのローリンクをゆっくり上げ、最大持ち上げ範囲まで各部が干渉しないことを確認してください。
- トラクタの3点リンクの持ち上げ規制装置で、上昇範囲を制限してご使用ください。